

ホップズ『リヴァイアサン』 初版 Head 版（一六五一年）の異刷について

川 又 祐

第1章 はじめに

第2章 『リヴァイアサン』初版 Head 版の異刷

第3章 『リヴァイアサン』正誤一覧

第4章 おわりに

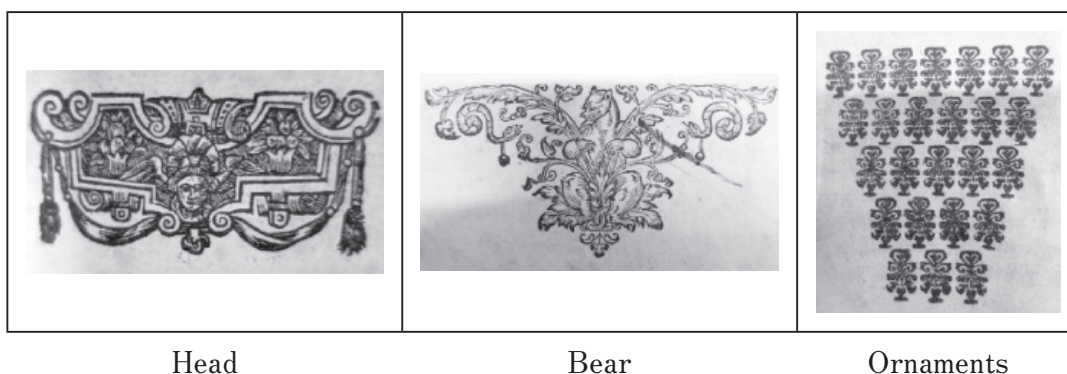
第1章 はじめに

日本大学法学部図書館には、その地下一階に数々の貴重書が收藏されている。その中でも特筆すべきは、トーマ

ホップズ『リヴァイアサン』初版 Head 版（一六五一年）の異刷について（川又）

三二（三二）

図1 『リヴァイアサン』初版表題頁のヴィネット



Head

Bear

Ornaments

ス・ホップズ『リヴァイアサン』(一六五二年)初版第一刷りHead版、第二刷りBear版、第三刷りOrnaments版がそれぞれ二点、合計六点が収められていることである。周知のように、Head(首)・Bear(熊)・Ornaments(オーナメント)の版表記は、表題頁の装飾模様ヴィネット(Vignette)に由来しており(図1)、それが通称にもなっている⁽¹⁾。

『リヴァイアサン』の書誌情報については、一般的にウィング(Wing, 1982)、そしてマクドナルドとハーグリーブス(Macdonald and Hargreaves, 1952)のカタログが参照されている。本館は、『リヴァイアサン』を一九八二年から一九八六年にかけて個別に入手してきた。本館が所蔵している各『リヴァイアサン』は、ウィングらが記している書誌と一致している。本稿では、法学部図書館所蔵の『リヴァイアサン』六点をそれぞれ便宜的に、Hq, Hr (Head of q, r)・Bs, Bt (Bear of s, t)・Ou, Ov (Ornaments of u, v)の略号で表記する。本館の請求記号、その購入年、購入先、ウィングらの整理記号をまとめると、表1になる。

これら六点の購入経緯に関する情報は、購入年と購入先を除いて、残念ながら詳しいものは法学部図書館に残されていない。以前の所有者に関する情報についても、ごく限られている。Hq版に関しては、見返しに次のような書込みがある。

This copy of the Leviathan is of the first edition ever printed

表1 日本大学法学部図書館所蔵『リヴァイアサン』

| 法学部図書館 請求記号 | 便宜的略号 | 購入年 | 購入先 | Wing 整理記号 | Macdonald and Hargreaves 整理記号 |
|---|-------|-------|------|-----------|----------------------------------|
| <u>133.23</u> <u>H81q</u> The Head | Hq 版 | 1982年 | 崇文荘 | H2246 | No. 42 |
| <u>133.23</u> <u>H81r</u> The Head | Hr 版 | 1982年 | 国際書房 | H2246 | No. 42 |
| <u>133.23</u> <u>H81s</u> The Bear | Bs 版 | 1986年 | 雄松堂 | H2247 | No. 43 |
| <u>133.23</u> <u>H81t</u> The Bear | Bt 版 | 1986年 | 崇文荘 | H2247 | No. 43 |
| <u>133.23</u> <u>H81u</u> The Ornaments | Ou 版 | 1986年 | 崇文荘 | H2248 | No. 44 |
| <u>133.23</u> <u>H81v</u> The Ornaments | Ov 版 | 1986年 | 崇文荘 | H2248 | No. 44 |

John W. Rooth

「この『リヴァイアサン』はこれまで印刷された初版の二つである。ジョン・W・ルース」

I give this book which was given me by my Friend,
George Condy Esquire, to his Godson, John Wilcoxon
Rooth.

Good Friday 21st March 1856

John Rooth

「友人ジョージ・コンディ殿から送られた本書を、彼の名づけ子ジョン・ウイルコクソン・ルースに与える。一八五六年三月二日金曜の良き日。ジョン・ルース」

この記述に従えば、ジョージ・コンディが所有していたものがジョン・ルースに譲渡され、ジョンは、一八五六年に、コンディが名づけ親となってくれた自分の子供ジョン・ウイルコクソン・ルースに同書を与えたことになる。つまり、これらの書込みは、親子二代によるものと考えら

図2 Bs版の蔵書印とブックプレート



れる。従って、このBs版のかつての所有者は、ジョージ・コンデイ↓ジョン・ルース↓ジョン・ウイルコクスン・ルースである。またBs版に関しては、見返しに蔵書印とブックプレート(蔵書票)が別々に付けられている(図2)。

左側の蔵書印では、動物の首が描かれた下に、“C・H・C Arthingworth”が読み取れる。右側のブックプレートは、兜(ヘルメット)の両側にライオンが配されたデザインの家紋が描かれ、そこには、モットー“ESSE QUAM VIDERI”

「見ゆる(思はるる)ことよりは有ること」(を私は願ふ) Ⅱ 外観よりは実質を重んず」(田中、落合、一七七頁)。

そしてその下側に四行にわたって

The R.^t Hon.^{ble} John L.^d Brownlowe, Baron Charleville, & Viscount
Tyrconnel in the Kingdom of Ireland⁽²⁾

「アイルランド王国のジョン・ブラウンロー卿、チャールヴィル男爵、
ティアコネル子爵」

が記されている。ここから、いずれが先に所有していたのかは不明だが、アーシングワース、そしてブラウンローがその所有者であったことが分かる。

表2 『リヴァイアサン』初版所蔵大学・機関一覧（2014年2月現在）

| | Head 版所蔵数 | Bear 版所蔵数 | Ornaments 版所蔵数 |
|-----------------|-----------|-----------|----------------|
| 日本大学法学部 | 2 | 2 | 2 |
| 日本大学経済学部 | 1 | | |
| 日本大学国際関係学部 | 1 | | |
| 大阪市立大学 | 1 | | |
| 大阪経済大学 | 1 | | |
| 大阪産業大学 | 1 | | |
| 神奈川大学 | | | 1 |
| 関西学院大学 | 3 | 1 | 1 |
| 関西大学 | 1 | | |
| 関東学園大学 | | | 1 |
| 京都外国語大学 | | 1 | |
| 京都大学経済学部 上野文庫 | 1 | 1 | 1 |
| 京都大学文学部 | 1 | | |
| 京都産業大学 | 1 | | |
| 近畿大学 | 1 | | |
| 慶応義塾大学 | 1 | 1 | 1 |
| 国立国会図書館 | 1 | 1 | |
| 駒澤大学 | 1 | | |
| 駿河台大学 | 1 | | 1 |
| 成蹊大学 | | 1 | |
| 成城大学 | | | 1 |
| 専修大学 | 1 | | |
| 千葉商科大学 | 1 | | 1 |
| 中央大学 | | 1 | |
| 東海大学 | | 1 | |
| 東京経済大学 | 1 | | |
| 東京大学経済学部 | 1 | | |
| 東京大学文学部社会科学研究室 | 1 | | |
| 東北大学 | 1 | 1 | 1 |
| 名古屋大学 | 2 | 2 | 1 |
| 名古屋商科大学 | 1 | | |
| 奈良大学 | 1 | | |
| 一橋大学 | 1 | 1 | 1 |
| 兵庫県立大学神戸商科学術情報館 | 1 | | |
| 広島経済大学 | 1 | | |
| 放送大学 | 1 | | |
| 北陸先端科学技術大学院大学 | | 1 | |
| 明治大学 | 1 | 1 | 1 |
| 横浜市立大 | 1 | 1 | |
| 立教大学 | 1 | | |
| 早稲田大学 | 1 | | |
| 計 | 37 | 17 | 14 |

ホップズ『リヴァイアサン』初版Head版（一六五一年）の異刷について（川又）

三五（二五）

国内における大学・機関の本書所蔵状況は、表2の⁽³⁾ようになる。

表2の作成に当たっては、京都大学文学研究科図書館雑誌室の松田博氏から多くの有用な『リヴァイアサン』所蔵情報を提供していただいた。また、各機関が、その所蔵調査に快く応じてくださったことに対して、この場を借りて心から感謝の意を表したい（もちろん、表作成の最終的責任は筆者が負っている）。調査漏れも当然あるかと思うが、『リヴァイアサン』初版の所蔵点数がこれほどの数になるとは正直、驚きである。他の版も含めると国内の大学・機関に『リヴァイアサン』が、どれほど所蔵されていることになるのか、想像できない。

第2章 『リヴァイアサン』初版Head版の異刷

筆者は、次の『リヴァイアサン』初版Head版の五点が利用できる環境にある。

- (1) 日本大学法学部図書館所蔵『リヴァイアサン』Hq版
 - (2) 日本大学法学部図書館所蔵『リヴァイアサン』Hr版
 - (3) 東京大学経済学部図書館所蔵、アダム・スミス旧所蔵本『リヴァイアサン』（東京大学経済学部図書館所蔵西洋古典籍デジタルアーカイブによるPDF。東大版と略記。前出の表2参照）
 - (4) 筆者蔵『リヴァイアサン』大英博物館蔵本復刻版（スカラー版と略記）⁽⁴⁾
 - (5) 日本大学法学部図書館所蔵『リヴァイアサン』復刻版（KINZ版と略記）⁽⁵⁾
- これらの中でも、(4)大英博物館蔵本復刻スカラー版の『リヴァイアサン』に注目すべきである。ロジャースと

シューマンは、スカラー版の七一ページ、上から一八行にある記述“… two much …”に注目する。これらは本来、校正の対象となるべきであるが、未校正のままになっている点で重要である。これらの部分が他の『リヴァイアサン』Head版では、訂正されて“… too much …”になっていることを彼らは、突き止めたのである (Rogers and Schumann, 2003, p.110)。これこそ、『リヴァイアサン』初版Head版に異刷 (state) があることの証左となる。その結果、おそらく『リヴァイアサン』は、後述するように、印刷と販売をしながら、それと同時に、ホップズ自身あるいは校正者によって校正が続けられていたことが推定される。しかも、誤植があると認識された後でも、印刷済みの当該用紙は、破棄されることなくそのまま販売が続けられたことをうかがわせる。そしてスカラー版は、印刷された『リヴァイアサン』の中でも、ごく初期に印刷されて販売されたものとしての位置づけが可能であろう⁽⁶⁾。

そこでスカラー版とK&N版の相違を調べてみるために、校合 (今回は肉眼による比較) を行う⁽⁷⁾。そうすると、上記の“two”と“too”の相違 (後出の②) も含めて一〇か所の明らかな相違が見つかった。そこから、両者の相違が他の『リヴァイアサン』ではどうなっているのか、をまとめたのが次の表3である (印刷のかすれなどは無視している)。

一〇か所の相違は、

- ① “from Deliberation.” ㄱ “from. Deliberation” で、ピリオドの位置が異なる。
- ② “two” ㄱ “too”。
- ③ “Free-will, no Liver-ty”, “Freewill, no Liver-ty” ㄱ “Free will, no liber-ty”。Freeの後のハイフンの有無、LibertyのLが大文字か小文字で異なる。
- ④ “Liberty” ㄱ “liberty” で、大文字か小文字で異なる。

表3 『リヴァイアサン』 Head 版各版の相違

| 相違箇所 | スカラ一版 | KdN 版 | 日大法 Hq 版 | 日大法 Hr 版 | 東大版 |
|--------------------------|--|--------------------------------------|--|--------------------------------------|--------------------------------------|
| ① p.29. par.2. 1.8. | from Deliberation. | from. Deliberation | from. Deliberation | from Deliberation. | from Deliberation. |
| ② p.71. par.2:last line. | two | too | too | too | too |
| ③ p.108. 1.13-14. | <i>Free-will</i> , no <i>Liberty</i> -ty | <i>Freewill</i> , no <i>liber-ty</i> | <i>Free-will</i> , no <i>Liberty</i> -ty | <i>Freewill</i> , no <i>liber-ty</i> | <i>Freewill</i> , no <i>liber-ty</i> |
| ④ p.108. 1.14. | Liberty | liberty | liberty | liberty | liberty |
| ⑤ p.108. par.3. 1.5-6. | inclination [new line] | inclination pro-ceedeth | inclination pro-ceedeth | inclination pro-ceedeth | inclination pro-ceedeth |
| ⑥ p.108. par.3. 1.6-7. | another cause, [new line] | another cause, which cau-ses | another cause, which cau-ses | another cause, which cau-ses | another cause, which cau-ses |
| ⑦ p.208. 1.7 form below. | Where, when | Where when | Where, when | Where, when | Where, when |
| ⑧ p.318. 1.8 from below. | that | that | that | that | that |
| ⑨ p.330. catch word | things ^s . | things. | things ^s . | things | things. |
| ⑩ p.331. 1.1. | things. | things. | things. | things | things. |

- ⑤ “inclination” び改行 ヽ “inclination pro-ceedeth” の pro びの改行のため、行末が異なる。
- ⑥ “another cause” び改行 ヽ “another cause, which cau-ses” の which が追加され cau で改行のため、行末が異なる。
- ⑦ “Where, when” ヽ “Where when” び カンマの有無で異なる。
- ⑧ “that” ヽ “that” び t の位置が異なる。
- ⑨ “things^s.” ヽ “things.” び s の位置が異なる。
- ⑩ “things.” ヽ “things.” び t の位置が異なる。
- である。これら一〇か所の相違から、次のことが言えるであろう。

- (1) スカラー版は、他の四つ KdN 版、日大法 Hq 版、Hr 版、東大版と異なっている。
- (2) KdN 版は、残る日大法 Hq 版、Hr 版、東大版と異なっている。
- (3) 日大法 Hq 版は、残る日大法 Hr 版、東大版と異なっている。
- (4) 日大法 Hr 版と東大版は同じである。

結果として、今回の調査からは初版 Head 版にはいくつかの種類、すなわち異刷が少なくとも現時点で四種類あることが判明した。しかも、日本大学法学部が所蔵する『リヴァイアサン』Hq 版と Hr 版は、異刷であることが分かった。さて、スカラー版と Hq 版、Hr 版、東大版の校合は、今回行っていない。国内の大学・機関が所蔵している Head 版三七点の校合もそれぞれに行えば、さらに各版の相違が発見できるかもしれない。しかし、貴重書という性質から事実上、校合は現状では不可能である。⁽⁸⁾

第3章 『リヴァイアサン』正誤一覧

ここで問題となるのが、『リヴァイアサン』「目次 (The Contents of the Chapters)」の次に掲げられている「正誤一覧 (Errata)」の存在である。『リヴァイアサン』の折記号 (signature) の A は、

A1: 表頁に表題頁、裏頁が白

A2 : フランシス・ゴドルフィンに当てた献辞 (To My Most Honor'd Friend Mr Francis Godolphin of Godolphin) が表裏の両頁

ホップズ『リヴァイアサン』初版 Head 版 (一六五一年) の異刷について (川又)

A[3]：表頁に目次、裏頁に目次の続きと正誤一覧

A[4]：序説 (The Introduction) が両頁

によって構成されている。このA[3]の裏頁に掲載されているものを表4にまとめた。

ここでは、表4にあるとおり、全部で三六か所の誤記が、正されている。これらは前章で示した各Head版の①から⑩までの相違か所には該当していない。上述したように、『リヴァイアサン』は印刷と校正が同時並行に行われたようである。とすると、この正誤一覧にある誤植もその都度、校正をすることが可能であったはずである。ところが、それはなされていない。この正誤一覧は、少なくとも本文——折記号B、第一部以下——の印刷がひととおり終了した時点で作成されたはずである。その後、ホップズらには選択肢が二つあった。一つは、正誤一覧に記載されているものを校正して、折記号B、第一部以下を印刷し直すこと、もう一つは、当該か所を校正せずにそのまま印刷を継続すること、である。もし前者を選択して、正誤一覧に記載されているものを校正すると、本文全体をすべて印刷し直す必要はなくなる。当然、印刷済みの用紙は廃棄しなければならない。そこでホップズらを選択したのは前者ではなく、後者であった。ただし後者の場合でも、当該か所以外の誤植・誤記が印刷の過程で見つかれば、そうした誤記はその都度校正することにした、とみるべきである。そのため、正誤一覧も変更されることなく、他のHead版異刷に掲載されることになったのであろう。

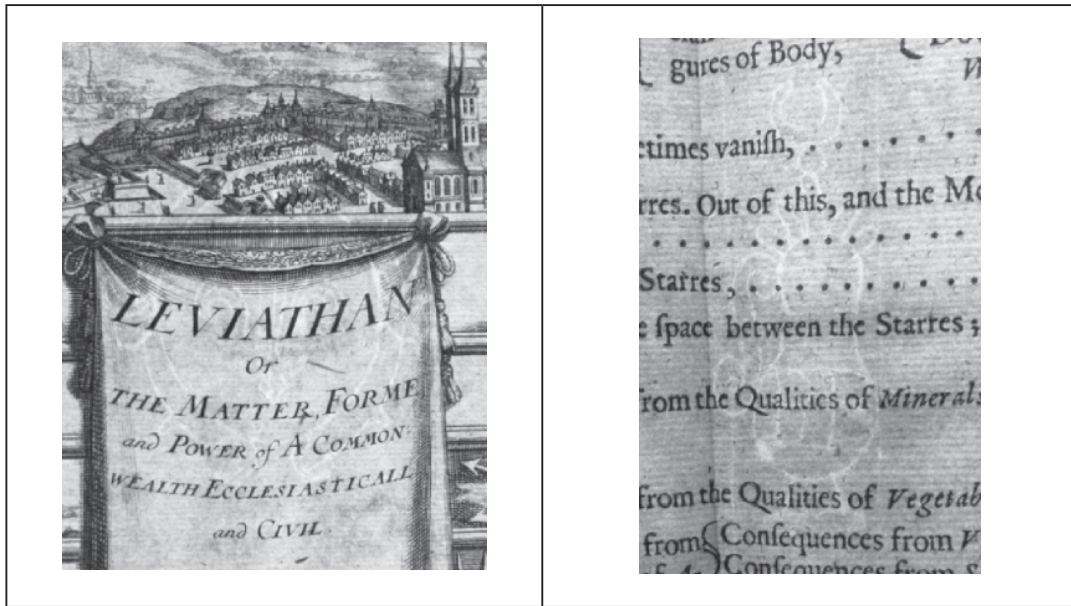
表4 『リヴァイアサン』 正誤表

| | locus | false | correct |
|----|-------------------------|----------------------|----------------------|
| 1 | p.48. in the margin | love Praise | love of Praise |
| 2 | p.75. l.5 | signied | signified |
| 3 | p.88. l.1 | performe | forme |
| 4 | p.88. l.35 | Soveraign | the Soveraign |
| 5 | p.94. l.14 | lands | hands |
| 6 | p.100. l.28 | in | in his |
| 7 | p.102. l.46 [sic. l.47] | in | is |
| 8 | p.105. in the margin | ver.10. | ver.19. etc |
| 9 | p.116. l.46 | are involved | are not involved |
| 10 | p.120. l.42 | Those Bodies | These Bodies |
| 11 | p.137. l.2 | in generall. | in generall, |
| 12 | p.139. l.36 | were | where |
| 13 | p.166. l.18 | benefit | benefits |
| 14 | p.200. l.48 | | dele also |
| 15 | p.200. l.49 | delivered | deliver |
| 16 | p.203. l.35 | other | higher |
| 17 | p.204. l.15 | and left | if left |
| 18 | p.204. l.39 | write | writt |
| 19 | p.206. l.19 | of the | over the |
| 20 | p.234. l.1 | but of | but by mediation |
| 21 | p.234. l.15 | | dele and |
| 22 | p.234. l.38 | putting | pulling |
| 23 | p.262. l.19 | tisme | Baptisme |
| 24 | p.268. l.48 | that the | that |
| 25 | p.271. l.1 | observe | obey |
| 26 | p.271. l.4 | contrary the | contrary to the |
| 27 | p.272. l.36 | our Saviours of life | of our Saviours life |
| 28 | p.275. l.18 | if shall | if he shall |
| 29 | p.275. l.30 | haven | heaven |
| 30 | p.275. l.45 | of Church | of the Church |
| 31 | p.276. l.38 | | dele inter |
| 32 | p.276. l.46 | | dele are |
| 33 | p.285. l.11 | he had | he hath |
| 34 | p.287. l.10 | | dele of |
| 35 | p.298. l.36 | to ay | to Lay |
| 36 | p.361. l.36 | him | them |

ホップズ『リヴァイアサン』初版 Head 版（二六五一年）の異刷について（川又）

四一（四一）

図3 本館所蔵 Hq 版のウォーターマーク



ユリ紋 (Fleur-de-lis) : 口絵部分

壺 (Pot) : 41頁と42頁の間に挿入されている科学の体系図部分

第4章 おわりに

本稿によって『リヴァイアサン』には異刷が存在すること、正誤一覧は変更されず、『リヴァイアサン』各Head版にそれが継承されていることが明らかとなった。『リヴァイアサン』に関して、言及すべき点がもう一つ残されている。それはウォーターマーク (Watermark、透かし文様) である。

『リヴァイアサン』の印刷・校正過程を追うというのであれば、そこで使用されている用紙の検証も欠かせないであろう。図3にあるように、日本大学法学部図書館所蔵の『リヴァイアサン』Hq版口絵「リヴァイアサン」の用紙には、ウォーターマークとして「ユリ紋 (Fleur-de-lis)」が用いられている⁹⁾。また、本文中で簡単に見ることができるのは、科学の区分・体系が説明されている図で用いられている用紙にある壺 (Pot) である。印刷に用いられた用紙およびウォーターマークを比較することで、『リヴァイアサン』の新たな姿が浮かび上がるかもしれない。しかしながら今回、Hq版とHr版で使用されてい

る用紙のウォーターマークの比較は試みられていない。そもそもH₁版の口絵が失われているから、というのがその理由の一つである。しかしそれ以上に、本館が所蔵しているH₉版とH₁₁版の状態そのものがそれを許さない。糸綴じにゆるみがあり、各頁のウォーターマークをそれぞれ確認（そして、それを撮影）することは、それ相応の負荷が発生して、本の破損につながる恐れがあるからである。¹⁰今回は断念したものの、本館所蔵『リヴァイアサン』Head版の修復がなされた際には、他のBear版、オナメント版をも含めて、それは試みられなければならない。従って、他大学が所蔵している『リヴァイアサン』Head版ウォーターマークとの比較も他日の課題としなければならない。

参考文献

『リヴァイアサン』

Thomas Hobbes of Malmesbury. 1651. *Leviathan, or the Matter, Forme, & Power of a Common-wealth Ecclesiasticall and Civill*. London, Printed for Andrew Crooke, at the Green Dragon in St. Pauls Church-yard. First Issue. Head. Nihon University College of Law Library. [Hq, Hr ed.]

Thomas Hobbes of Malmesbury. 1651. *Leviathan, or the Matter, Forme, & Power of a Common-wealth Ecclesiasticall and Civill*. London, Printed for Andrew Crooke, at the Green Dragon in St. Pauls Church-yard. First Issue. Head. Tokyo University. 本書は、東京大学経済学図書館所蔵西洋古典籍デジタルアーカイブとして公開されている。「東大版」 Tokyo Univ. ed.]

<http://www.lib.e.u-tokyo.ac.jp/digitalarchive/smith/5513435924.pdf>

Thomas Hobbes of Malmesbury. 1651. *Leviathan, or the Matter, Forme, & Power of a Common-wealth Ecclesiasticall and Civill*. Menston: The Scolar Press Limited, 1969. [「スカラー版」 Scolar ed.]

ホッブズ『リヴァイアサン』初版Head版（一六五一年）の異刷について（川又）

- Thomas Hobbes of Malmesbury. 1651. *Leviathan, or the Matter, Forme, & Power of a Common-wealth Ecclesiasticall and Civill*. hrsg. Horst Claus Recktenwald et al. Düsseldorf: Verlag Wirtschaft und Finanzen, 1990. Klassiker der Nationalökonomie. [KdN ed.]
- Thomas Hobbes of Malmesbury. 1651. *Leviathan, or the Matter, Forme, & Power of a Common-wealth Ecclesiasticall and Civill*. London, Printed for Andrew Ckooke [sic], at the Green Dragon in St. Pauls Church-yard. Second Issue. Bear. Nihon University College of Law Library. [Bs, Bt ed]
- Thomas Hobbes of Malmesbury. 1651. *Leviathan, or, the Matter, Forme, & Power of a Common-wealth Ecclesiasticall and Civill*. London, Printed for Andrew Crooke, at the Green Dragon in St. Pauls Church-yard. Third Issue. Ornaments. Nihon University College of Law Library. [Ou, Ov ed.]
- ホッブズ著、水田洋訳『リヴァイアサン』岩波文庫、一九九二年、全四冊。

その他の参考文献・情報

- Bowers, Fredson. 1949. *Principles of Bibliographical Description*. St. Paul's Bibliographies; 15. Winchester: St. Paul's Bibliographies. 1986.
- Heawood, Edward. 1950. *Watermarks mainly of the 17th and 18th Centuries*. Monumenta Chartae Papyraceae Historiam Illustrantia or Collection of Works and Documents Illustrating the History of Paper 1. General editor: E. J. Labarre. Hilversum: The Paper Publications Society Facsimile Reprint ed. [2003]. Krown & Spellman Booksellers. 久米康生、増田勝彦訳『透かし文様——主として一七〜一八世紀』雄松堂出版、一九八七年。
- Macdonald, Hugh. and Hargreaves, Mary. 1952. *Thomas Hobbes. A Bibliography*. London: The Bibliographical Society.
- Rogers, G. A. J. and Schuhmann, Karl. 2003. *Introduction to Thomas Hobbes Leviathan. Critical Edition*. Vol. 1. Bristol: Thoemmes Continuum.

Smith, W. G. Pogson. 1909. *Hobbes' Leviathan reprinted from the Edition of 1651. With an Essay by the Late W. G. Pogson*. Oxford: Clarendon Press. 本書は、トロント大学がウェブで公開している。本文の字句検索ができるので非常に便利である。

<https://archive.org/details/hobbesleviathan00hobbuoft>

Wing, Donald. 1982. *Short-Title Catalogue of Books printed in England, Scotland, Ireland, Wales, and British America and of English Books printed in Other Countries 1641-1700*. Revised and edited by Timothy J. Crist with the assistance of Janice M. Hansel, Phebe A. Kirham, Jeri S. Smith and others. New York: The Modern Language Association of America. Vol. 2.

安形麻里『デジタル書物学事始め グーテンベルク聖書とその周辺』勉誠出版、二〇一〇年。

高野彰『増補版 洋書の話』丸善株式会社、一九九九年。

田中秀央、落合太郎編『ギリシア・ラテンイン用語辞典(新增補版)』岩波書店、一九六三年。

松田博(京大文学研究科図書館雑誌室)氏からの『リヴァイアサン』所蔵機関に関する提供情報

省略記号 (Abbreviation)

Hq 版、Hr 版：日本大学法学部図書館所蔵『リヴァイアサン』Head ed.

Bs 版、Bt 版：日本大学法学部図書館所蔵『リヴァイアサン』Bear ed.

Ou 版、Ov 版：日本大学法学部図書館所蔵『リヴァイアサン』Ornaments ed.

KdN 版：Leviathan of Klassiker der Nationalökonomie.

スカラー版：Leviathan of Scholar Press.

東大版：東京大学所蔵『リヴァイアサン』Head ed.

ホップズ『リヴァイアサン』初版Head版(一六五一年)の異刷について(川又)

四五(四五)

注

(1) 首 (Head) のヴァイネットが、出版者のプリンターズ・マーク (printer's mark, device, 商標) と同じように、他の本にも使用されているのは今のところ不明である。ちなみにウェブページで、『リヴァイアサン』の出版者クルック (Andrew Crooke) の名が表題頁に記された書物の画像を見ることが出来るのは、

Blunt, Henry. 1650. *A Voyage into the Levant. London.*

<http://archive.org/details/worksofmrrichar1666hook>

The Works of Mr. Richard Hooker... 1666

http://books.google.co.jp/books/about/A_voyage_into_the_Levant.html?id=WmpCAAAAcAAJ&redir_esc=y

Stubbe, Henry. 1662. *The Indian Nectar; or, A Discourse Concerning Chocolata.* London.

[https://play.google.com/books/reader?id=QyhVAAAAcAAJ&printsec=frontcover&output=reader&authuser=0&hl=en&pg=](https://play.google.com/books/reader?id=QyhVAAAAcAAJ&printsec=frontcover&output=reader&authuser=0&hl=en&pg=GBS.PP5)

GBS.PP5

の三つである。いずれも「首」のヴァイネットはない。

(2) 省略されている単語は Right, Honorable, Lord である。また、このブックプレートと同じではないが、たとえば次のウェブページで Brownlow, John, 1st Viscount Tyrconnel (1691-1754) の刻印 (Stamp 1) が紹介されている。

<http://armorial.library.utoronto.ca/node/31080>

(3) 表では、必要に応じて学部名や、文庫名を表記してある。

(4) スカラー版の“Note”には、“Reproduced (original size) by permission of the Trustees of the British Museum. Shelfmark: 522.k.6.”と記載されている。原典は、次の大英博物館のウェブページで簡単に紹介されている。

<http://www.bl.uk/reshelp/findhelprestype/prbooks/britprecol11501to1800/britishprintedcols.html>

(5) KdN 版の奥付には、“Als Vorlage diente das im Besitz der Verlagsgruppe Handelsblatt befindliche Exemplar der 1651 in London erschienenen Erstaussgabe.”とある。この“Verlagsgruppe Handelsblatt”は、『商業新聞』(Handelsblatt) を発行している

る団体である。この団体が所有している『リヴァイアサン』が、復刻の原典である。

(6) 高野は、異刷には五つの種類があるというバウアーズ (Fredson Bowers) を紹介している (高野、一九九九、pp.158-164 参照)。

(7) 校合の方法について、「画像の静的重ね合わせ」が注目されている。『リヴァイアサン』Hq版、Hr版の各ページを静止画撮影して、片方の画像を半透明にし、もう一方の画像に重ね合わせてみる。両者が同一であれば完全に重なり一枚の画像のように表示がされ、異なっていればそうは見えない、ということになる (参照、安形、二〇一〇、一六四頁)。今回は、『リヴァイアサン』を撮影することはできなかったため、肉眼による比較という方法を採用している。

(8) 東大版が画像化されているので、他の版の撮影がなされれば注(7)の「画像の静的重ね合わせ」による比較が可能となるであろう。しかしながら、およそ四〇〇頁にもなる『リヴァイアサン』を東大版の画角にそろえて撮影することは実際問題として困難である。

(9) 『リヴァイアサン』のウォーターマークについて、ヒーウッドは「ホップズ Hobbes の『レヴィヤタン』Leviathan の一冊は、一六五一年の刊記があるのに、銅彫板によるタイトルページの透かし文様は特異な形のユリ紋(一五九五図)で、その本の他の部分のどこにもないものである」(Heawood, p.30. 訳書、一二頁。訳書は図番号を誤記している。)と記しており、その説明として注記に「上記のものを書いたあと、私はかなり多くの本が疑わしい銅彫板印刷のタイトルページをもっていることを知った。これは、もとのタイトルページの残本に、初版の印刷者が再びタイトルページを印刷し、再発行したためと考えられる」を挙げている (Heawood, p.30. note 1. 訳書、二九頁)。ヒーウッドの記述は、別の機会に検証しなければならぬ。

(10) 残念ながら、日本大学法学部図書館のBs, Bt, Ou, Ov版の状態にもそれぞれ痛みが見られる。

Four States (Versions) of Hobbes' *Leviathan* "Head" Edition (1651).

Hiroshi KAWAMATA

Summary

The Nihon University College of Law Library has six copies of the first edition of Thomas Hobbes' *Leviathan* published in 1651. These include two copies of the "Head" ed. (Hq, Hr), two copies of the "Bear" ed. (Bs, Bt), and two copies of the "Ornaments" ed. (Ou, Ov). At this time, I have collated the following "Head" editions of *Leviathan*:

- (1) Hq (College of Law Library, Nihon University)
- (2) Hr (College of Law Library, Nihon University)
- (3) Tokyo University's *Leviathan* (PDF)
- (4) Reprint (Solar press ed., 1969)
- (5) Reprint (KdN, *Klassiker der Nationalökonomie* ed., 1990)

The Solar edition is distinguished from the KdN, Hq, and Hr editions because of ten different spellings or phrasings. The Hr and Tokyo Univ. editions are the same state (version), while the others differ from them and each other in various ways. In conclusion, there are at least four states (versions) of the *Leviathan* "Head" edition (1651).